【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年9月6日(2022.9.6)

【公開番号】特開2021-112532(P2021-112532A)
【公開日】令和3年8月5日(2021.8.5)
【年通号数】公開・登録公報2021-035
【出願番号】特願2020-7916(P2020-7916)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月26日(2022.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者による押下げ操作の対象とされる押下操作部と、
判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、
遊技者による押下げ操作がなされたときの操作受付が許容される操作許容状態を発生可能であり、該操作許容状態で前記押下操作部に対する押下げ操作によって操作受付がなされると受付後表示が表示されうる操作実行手段と、
前記押下操作部を摸した摸画像表示を行う摸画像表示手段と、
背景画像を表示可能な背景画像表示手段と
を備え、
前記操作許容状態として、所定の発生条件が満たされることを契機として発生可能な所定の操作許容状態、及び特定の発生条件が満たされることを契機として発生可能な特定の操作許容状態が少なくとも用意されており、
前記所定の操作許容状態及び前記特定の操作許容状態においては、いずれの操作許容状態においても、複数回の操作受付が許容可能とされる状態にある押下操作部が複数あり、
前記所定の操作許容状態では、前記背景画像の切り替えが生じることがないなかで、複数回の操作受付が許容可能とされる状態にある前記押下操作部のいずれか１つを押下げ操作した状態に維持し続けると、該押下げ操作した状態に維持し続けた前記押下操作部の種別に応じて、前記操作受付が複数回なされる場合と、前記操作受付が複数回なされない場合とがあるようになっており、
前記特定の操作許容状態では、前記背景画像が第２背景画像として表示される第２背景操作区間から、前記背景画像が第１背景画像として表示される第１背景操作区間への切り替えが、複数ある前記押下操作部のいずれに対する押下げ操作も必要とせずに生じるようになっているなかで、複数回の操作受付が許容可能とされる状態にある押下操作部のいずれを押下げ操作した状態に維持し続けたとしても、前記操作受付が複数回なされることがないようになっており、
さらに、
前記特定の操作許容状態において、前記背景画像が第２背景画像として表示される前記

第２背景操作区間から、前記背景画像が第１背景画像として表示される前記第１背景操作区間への切り替えが行われるときには特定発光部における発光態様に変化が生じる
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下を抑制することが求められる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
手段１：遊技者による押下げ操作の対象とされる押下操作部と、
判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、
遊技者による押下げ操作がなされたときの操作受付が許容される操作許容状態を発生可能であり、該操作許容状態で前記押下操作部に対する押下げ操作によって操作受付がなされると受付後表示が表示されうる操作実行手段と、
前記押下操作部を摸した摸画像表示を行う摸画像表示手段と、
背景画像を表示可能な背景画像表示手段と
を備え、
前記操作許容状態として、所定の発生条件が満たされることを契機として発生可能な所定の操作許容状態、及び特定の発生条件が満たされることを契機として発生可能な特定の操作許容状態が少なくとも用意されており、
前記所定の操作許容状態及び前記特定の操作許容状態においては、いずれの操作許容状態においても、複数回の操作受付が許容可能とされる状態にある押下操作部が複数あり、
前記所定の操作許容状態では、前記背景画像の切り替えが生じることがないなかで、複数回の操作受付が許容可能とされる状態にある前記押下操作部のいずれか１つを押下げ操作した状態に維持し続けると、該押下げ操作した状態に維持し続けた前記押下操作部の種別に応じて、前記操作受付が複数回なされる場合と、前記操作受付が複数回なされない場合とがあるようになっており、
前記特定の操作許容状態では、前記背景画像が第２背景画像として表示される第２背景操作区間から、前記背景画像が第１背景画像として表示される第１背景操作区間への切り替えが、複数ある前記押下操作部のいずれに対する押下げ操作も必要とせずに生じるようになっているなかで、複数回の操作受付が許容可能とされる状態にある押下操作部のいずれを押下げ操作した状態に維持し続けたとしても、前記操作受付が複数回なされることがないようになっており、
さらに、
前記特定の操作許容状態において、前記背景画像が第２背景画像として表示される前記第２背景操作区間から、前記背景画像が第１背景画像として表示される前記第１背景操作区間への切り替えが行われるときには特定発光部における発光態様に変化が生じる
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除
【補正の内容】